



議会だより

2016年5月1日発行 第48号



しらとり子ども園
園児が安全宣言

■【特集】地方創生加速化交付金	2
■ 定例会	4
■ 委員会報告	8
■ 一般質問	10
■ 東伯中学校模擬議会	22
■ 青年の声、あしがき	24

発行 鳥取県琴浦町議会

編集

議会広報常任委員会 電話/(0858)52-1710 FAX/(0858)52-1718

<http://www.town.kotoura.tottori.jp/>

琴浦町議会

検索

正予算を追加議案で再審議

2月臨時会 賛成5・反対10で否決

2月22日に臨時会が開かれ、付議された平成27年度一般会計補正予算の内に「地方創生加速化交付金」が含まれていた。

10名の議員が質疑を行い、芝生産管理機、産業振興機構や鳥取大学との連携など多くのことに質疑が集中した。

採決の結果5対10で否決され、「地方創生加速化交付金」に係わる部分を削除したものが再上程され、可決した。

討論

反対 高塚議員

地方創生加速化交付金については2月15日に初めて聞いた。内容の説明責任が果たされていない。もっと使い道を考えるべき。

賛成 語堂議員

少し気になるところもありますが、全てを否決するのは如何なものかと考え賛成します。

反対 小椋議員

加速化交付金にはもっと審議が必要、もう少しみんなと協議をしながら真剣に考えていく必要があると思う。

賛成 井木議員

町長は議会へ説明が不十分だと陳謝された。芝結束機は労働力不足の解消のため賛成する。

反対 青亀議員

誤った先行型を始め、加速化させる暴走は許されない。問題点を直視して我が町の産業政策を考えるべき。

起立採決による審議の結果

大平高志	×
澤田豊秋	○
桑本賢治	×
語堂正範	○
山田義男	×
藤堂裕史	○
藤本則明	×
新藤登子	×
高塚勝	×
川本正一郎	×
小椋正和	×
手嶋正巳	×
青亀壽宏	×
桑本始	○
井木裕	○
前田智章	議

○=賛成 ×=反対 議=議長



芝生産管理機（試作機）

地方創生 加速化交付金

平成27年度補

3月定例会(追加議案)

賛成13・反対2で可決

3月定例会最終日に、2月臨時会で否決された「地方創生加速化交付金」の補正予算が、国の交付決定を受け再度上程された。

臨時会でも質疑が多くあった、芝生産管理機、旧以西小学校を活用した宿泊研修施設設計費、関西方面で放映されるTV番組制作委託費に質疑が集中した。

4名の議員が賛・否の討論を行ったのち採決、13対2で可決となった。可決後に急ぎよ地方創生調査特別委員会を開き、「執行にあたっては議会地方創生調査特別委員会と十分協議の上実施すること」の附帯決議を提出、本会議で可決した。

討論

反対 高塚議員

関西のテレビ放映、結構なことだが工夫が足りない。
以西小学校をわざわざ改造してということと思うと、やはりこれは問題があると思います。

賛成 川本議員

町長以下執行部の意欲に敬意を表し、賛成したいと思いますが、委託内容その他詳細を早く整備していただきたい。

反対 青亀議員

国からの補助金が100%だからといって、安易に踏み出しているのだから

うか。後年度負担の警告も含めて私は反対したい。

賛成 語堂議員

町民の健康と主要産業の活性化、このチャンスを逃さないためにも、私は賛成する。



宿泊研修施設が予定されている旧以西小学校

起立採決による審議の結果

大平高志	○
澤田豊秋	○
桑本賢治	○
語堂正範	○
山田義男	○
藤堂裕史	○
藤本則明	○
新藤登子	○
高塚勝	×
川本正一郎	○
小椋正和	○
青亀壽宏	×
前田智章	○
桑本始	○
井木裕	○
手嶋正巳	議

○=賛成 ×=反対 議=議長

平成28年度当初予算

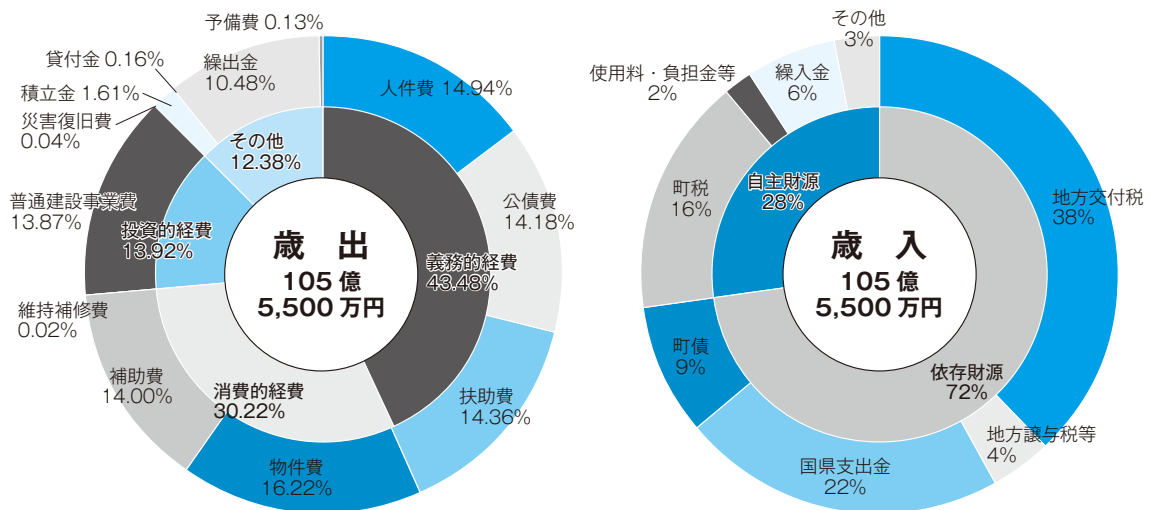
3月7日から22日まで3月定例会が開かれた。

町長が掲げる3つのテーマ「希望を持ち安心安全・心豊かに暮らせる『まち』づくり」「夢を育み明日のふるさとを支える『ひと』づくり」「地域に元気と潤いをもたらす『しごと』づくり」を設定し編成された予算について審議を行った。

地方創生関連事業、地域おこし協力隊関連事業、集落支援員活動事業、国際交流コーディネーター関連事業、自治センター設置事業、ふるさと創生塾、結婚・新生活支援事業など、幅広く議論された。最終日に、4名の議員が賛成・反対の討論を行った。

一般会計	105億5,500万円
特別会計	70億9,991万円
企業会計	6億4,519万円

一般会計予算の中身



平成28年度 会計別予算の状況

(単位：千円)

区分	平成28年度	平成27年度	増減額	増減率
一般会計	10,555,000	10,062,000	493,000	4.9%
特別会計	7,099,910	6,642,930	456,980	6.9%
国民健康保険特別会計	2,694,560	2,640,350	54,210	2.1%
住宅新築資金等貸付事業特別会計	18,187	16,618	1,569	9.4%
農業集落排水事業特別会計	272,707	266,585	6,122	2.3%
下水道事業特別会計	1,516,376	1,245,535	270,841	21.7%
介護保険特別会計	2,276,105	2,154,612	121,493	5.6%
後期高齢者医療特別会計	197,463	199,215	△1,752	△0.9%
船上山発電所管理特別会計	26,503	26,500	3	0.0%
八橋財産区特別会計	28	28	0	0.0%
浦安財産区特別会計	15	15	0	0.0%
下郷財産区特別会計	6	6	0	0.0%
上郷財産区特別会計	6	6	0	0.0%
古布庄財産区特別会計	6	6	0	0.0%
赤碓財産区特別会計	19,917	21,188	△1,271	△6.0%
成美財産区特別会計	14,452	9,176	5,276	57.5%
安田財産区特別会計	6,776	7,446	△670	△9.0%
以西財産区特別会計	56,803	55,644	1,159	2.1%
水道事業会計(企業会計)	645,197	567,537	77,660	13.7%
収益的支出	271,901	276,300	△4,399	△1.6%
資本的支出	373,296	291,237	82,059	28.2%
合計	18,300,107	17,272,467	1,027,640	6.9%

当初予算に対する
討論

反対 高塚議員
同和地区及び出身者に限定した施策を廃止、必要なものは一般化すべき。臨時職員に対する雇用的差別も改善されていない。補助金に見直しが不十分。

賛成 新藤議員
移住定住と企業誘致にがんばってもらえる予算になっているので賛成します。

反対 青亀議員
前年度最終予算に比べ、5億6千万円少ない収入見積りは住民サービスが制約を受ける。
同和特別対策は、町民の批判的になりつつある。世界の進歩に合せた町政の改革がなされていない。

賛成 小椋議員
少子化対策、小学校跡地活用対策、安心安全な道路環境整備など今後積極的に取り組まれることに賛成する。



賛否が分かれた議案・請願・陳情の起立採決による審議の結果

	審議結果	議員																		
		賛成	反対	大平高志	澤田豊秋	桑本賢治	語堂正範	山田義男	藤堂裕史	藤本則明	新藤登子	高塚勝	川本正一郎	小椋正和	青亀壽宏	前田智章	桑本始	井木裕	手嶋正巳	
議案	琴浦町交通安全基本条例の制定について	原案可決	13	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	琴浦町役場の位置を定める条例の一部改正について	原案可決	12	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	琴浦町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	12	3	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	琴浦町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	債権の放棄(琴浦町住宅新築資金等貸付金)について	原案可決	13	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成28年度琴浦町一般会計予算	原案可決	13	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成28年度琴浦町国民健康保険特別会計予算	原案可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成28年度琴浦町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成27年度琴浦町一般会計補正予算(第13号)	原案可決	13	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
請願	TPP協定を国会で批准しないことを求める請願	不採択	5	10	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	議	

この表に掲載していない議案は全会一致で可決しました。 ○=賛成 ×=反対 議=議長

新体制スタート



琴浦町議会 議長

手嶋 正巳

このたび、議長に就任し、光栄に存じますと共に責任の重さをひしひしと感じています。

本年は地方創生始動年度であり、執行部は地方創生総合戦略に基づき、着実に実践されるものと期待しております。議会は二元代表制であり、その役割を果たしていくことが重要で、事業の成果を検証する責任があると思っております。執行部と議会が一体となり安心して暮らせる町づくりを目指して頑張らなければなりません。町民の皆さまご理解とご協力宜しくお願いいたします。



琴浦町議会 副議長

高塚 勝

この度、副議長に選出され身が引き締まるおもいであります。

副議長の職務は地方自治法に「議長に事故ある時、または欠けたときは副議長が議長の職務を行う」と定められており、私はその職務を全力で全うさせていただきます。ただ、ため頑張っております。また同時に鳥取中部ふるさと広域連合の琴浦町選出の3名の議員の1人として選出されましたので、琴浦町は勿論、中部発展にも頑張っておりますので、皆さまのご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

議会構成一覧表

		大平	澤田	桑本	語堂	山田	藤堂	藤本	新藤	高塚	川本	小椋	青亀	前田	桑本	井木	手嶋	
		高志	豊秋	賢治	正範	義男	裕史	則明	登子	勝	正一郎	正和	壽宏	智章	始	裕	正巳	
琴浦町議会	議会運営委員会	○		●				◎		●		●	●					
	常任委員会	総務	●		◎		●		●	○	●		●	●	●	●	●	●
		教育民生	●	○	●	●	●			●	●	●	◎				●	
		農林建設		●		○		●	●		●		●	◎	●	●		●
		広報	○	●	●	◎					●			●				
	特別委員会	企業誘致推進	●		○	●				◎	●	●						
地方創生調査		●	●	○	●	●	●	●	●	◎	●	●	●	●	●	●	●	
議会選出監査委員															●			
中部ふるさと広域連合議会議員										●				●			●	
鳥取県後期高齢者医療広域連合議会議員																	●	

◎委員長 ○副委員長 ●委員

※今回から、1議員2常任委員会以上の所属となりました。

請願・陳情

番号	件名	提出者	紹介議員	要旨	委員会付託	委員会の意見	結果
請願 第1号	TPP協定を国会で批准しないことを求める請願	農民運動鳥取県連合会代表者 今市 潔	青亀 壽宏 川本正一郎 新藤 登子	国会決議に違反するTPP協定の批准は行わないこと	農林建設	国において判断すべきもの。	不採択
陳情 第1号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	軽度外傷性脳損傷仲間会代表 藤本久美子		軽度外傷性脳損傷・脳しんとう周知と予防、危険性や予後の相談窓口を設置すること	教育民生	教育現場においては、周知等は実施済みであり、相談窓口は県で設置している。	不採択
陳情 第2号	旅客自動車運送事業に係る安全体制の整備について(陳情)	倉吉市 足羽 佑太		旅客自動車運送事業法にて輸送の安全性を確保し、利用者・乗務員の安全を守る対策を講じること	総務	願意は妥当と認める	採 択
陳情 第3号	精神障がい者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書提出に関する陳情書	鳥取県精神障害者家族会連合会 会長 濱崎 智照		身体・知的障がい者のJR等の交通運賃の割引制度を精神障がい者にも拡大すること	教育民生	願意は妥当と認める	採 択
陳情 第4号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁		地域から経済の好循環を実現するため、最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を行うこと	総務	願意は妥当と認める	採 択
陳情 第5号	未来の有権者のための、模擬投票所設置に関する陳情	Kids Voting japan 代表 寒川 友貴		未来の有権者のための、選挙期間中、模擬投票所を投票所に設置すること	総務	投票所へ設置すべきものではない	不採択

請願と陳情の違いは？

行政に対する要望や意見があるときは、誰でも請願や陳情を出すことができます。議員の紹介があるものを「請願」といい、紹介がないものを「陳情」といいます。請願・陳情は要件を満たしていれば受理され、本会議または委員会で審議され、本会議において「採択」または「不採択」となります。採択されたものは、国等の関係機関に多くの場合意見書として送付されます。

委員会報告

総務

3月14日に委員会を開催し、一般会計予算など、議案について各課より説明を受け審査した。一般会計予算は賛成7反対1で可決された。

反対の意見では、「歳入見込みが過少、同和対策がいつまでたっても終わらない」などがあった。

財産区特別会計は全会一致で可決。

「旅客自動車運送事業に係る安全体制の整備について」の陳情は、規制緩和で安易に事業参入できることとなったことが一因で、より安全性を高めるため本陳情は全会一致で可決。

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書は、意見書では最低賃金1,000円以上となっていたが、引き上げることで全会一致で可決となった。

「未来の有権者のための模擬投票所設置に関する」陳情は、投票所に模擬投票を置くことは、混乱するという意見があり、全会一致で不採択。

会議終了後、逢東の備蓄倉庫を視察した。

委員長 桑本 賢治



備蓄倉庫を視察

教育民生

3月15日に委員会を開催し、一般会計予算など議案について、各課より説明を受け審査した。

一般会計予算、教育民生関係においては、賛成8反対2と可決した。

「軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談のできる窓口などの設置を求める」陳情は、賛成3反対7により不採択と決した。

「精神障がい者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書提出に関する」陳情は、全会一致で採択とした。

教民関係特別会計予算4議案については、全会一致により可決し審査を終えた。

また、4月12日に町内視察を行った。

委員長 小椋 正和



大高野官衙遺跡を視察

農林建設

当委員会の所管である一般会計予算の「農林水産費」「土木費」それに「農業集落排水」「下水道」及び「水道」の特別会計予算を審議し、いずれも妥当なものであるとして本会

議に報告した。

また、臨時議会で補正予算が否決された主要な原因である芝の結束機の認識を深めるため、鳥取県芝生産組合の中本昭典組合長を参考人として招き、芝生産の現状や課題について意見を聴取した。

当委員会に付託された請願を審査するに当たり、紹介議員である新藤登子議員から意見を聞いた。請願審査の結果は、賛成1反対8となり、当委員会としては「不採択とすべき」となりました。

110Kwの予定発電量に達しない状態が続いている「船上山発電所」の現状を確認するため現地を視察しました。

委員長 青亀 壽宏



船上山発電所を視察

地方創生

地方創生調査特別委員会（全議員で構成）は、2月22日の臨時会において、27年度一般会計補正予算が否決されたことを受け、3月3日に委員会を開催、執行部より説明を受け、3月22日定例議会最終日に国の交付決定を受け、追加

議案として再提出され可決された。可決後、ただちに委員会を開催した。

地方創生加速化交付金事業については、「執行にあたっては議会地方創生調査特別委員会と十分協議の上実施すること」の附帯決議を全会一致で議決した。

委員長 高塚 勝

地方創生加速化交付金事業

（全体予算 8,461 万円）

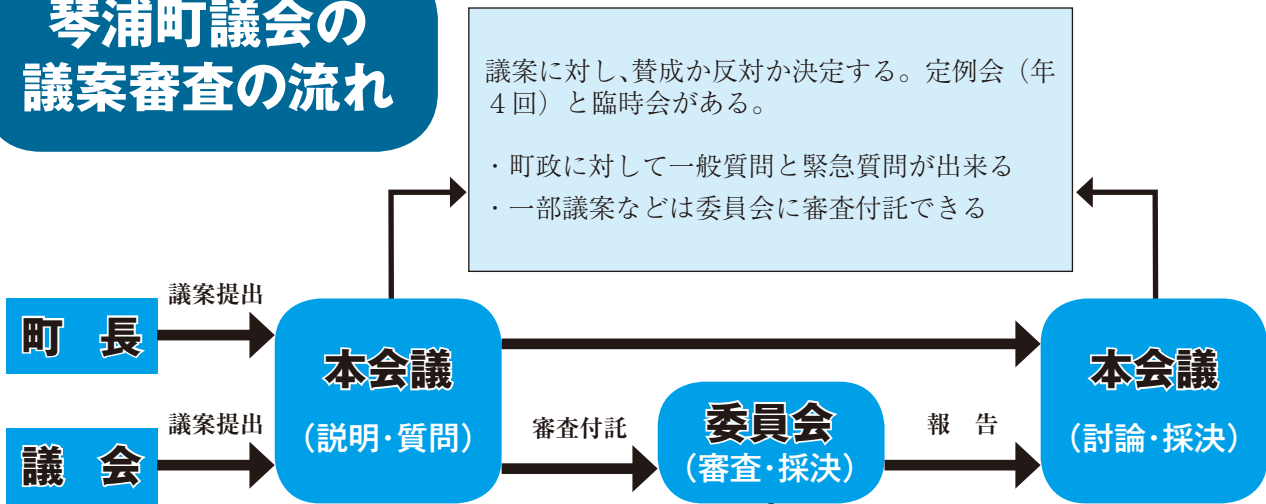
未来へつなぐ☆琴浦農業プロジェクト	5,200 万円
めざせ健康寿命日本一	2,800 万円
鳥取中部広域観光事業	461 万円

特に議論が集中した事業は

「未来へつなぐ☆琴浦農業プロジェクト」の内

*旧以西小学校を就農希望者宿泊施設設計費	700 万円
*琴浦町紹介関西テレビ番組作成委託料	1,000 万円
*芝生産管理機（芝結束機）製作委託費	1,200 万円

琴浦町議会の議案審査の流れ



議案に対し、賛成か反対か決定する。定例会（年4回）と臨時会がある。

- ・町政に対して一般質問と緊急質問が出来る
- ・一部議案などは委員会に審査付託できる

全員協議会

議会全般について協議する

上記会議は、
どなたでも傍聴が出来ます。

委員会

所管する事項を調査するし、付託された案件について審査し本会議に報告する

委員会の種類

- 常任委員会（任期2年、議員は2つ以上に所属）
 - ・総務常任委員会（11名）
 - ・教育民生常任委員会（11名）
 - ・農林建設常任委員会（10名）
 - ・広報常任委員会（6名）
- 特別委員会（任期は調査が終了するまで）
 - ・企業誘致推進特別委員会（6名）
 - ・地方創生調査特別委員会（全員）
- 議会運営委員会（6名）
 - ・議会運営全般に関する協議をする

ここが聞きたい

一般質問 Q&A

質問議員	質問事項	掲載ページ
桑本賢治	①労働問題について ②地方創生のための政策と事業について	11
高塚勝	①地区・自治会創生について ②役場庁舎について ③Iターン者、Uターン者との懇談会について	12
新藤登子	①農業体験者の宿泊施設について ②家庭から出る枝木雑草の収集について	13
青亀壽宏	①TPP（環太平洋経済連携協定）大筋合意による琴浦町への影響と対策 ②「琴浦町における『人権・同和教育』」について	14
大平高志	①町づくりの取り組みについて ②教科書採択の実施状況について	15
澤田豊秋	①障害者差別解消法の施行に向けた、町長、教育長の所信と本町の取り組みについて ②インクルーシブ保育・教育の推進について ③臨時・非常勤職員等の任用について	16
桑本始	①農林業センサスに見る農業後継者対策と農業振興策について	17
藤本則明	①防災対策（訓練等）について	18
小椋正和	①中山間地域振興について ②小学校跡地、保育園跡地、公共施設跡地活用について ③農業振興について	19
語堂正範	①食育について ②グルメのまち琴浦の体制強化を ③機能強化「重点道の駅」選定による今後の展開について ④民間等からの財源を活用した地域づくりとふるさと納税、ふるさとチョイスの更なる活用について ⑤未来の琴浦町農業の展望と次世代の農業者確保について ⑥ホームページ等を活用した町の情報発信はどのようになっているのか	20
川本正一郎	①「安心して暮らせるまちづくり」について	21

※色のつけてあるテーマについて、本紙で詳しく紹介しております。



桑本 賢治 議員

問

労働者の認識について

答

労働者と使用者は
対等の立場で

労働問題

問

町民の80%が労働者であり、専門的な行政機関は重要であるが、町に担当者を設置する考えはないか。

答

山下町長

労働基準法を始めとする労働関係諸法に則った労使自治が尊重されるべきと考える。

町に独自の別個の組織を作るということは考えていない。

問

県の調査どう受け止めるのか

県は、平成27年度職場環境実態調査を実施し、結果を公表した。

調査により明らかになった問題点を町はどのように受け止め、どう改善を図るのか。

答

一人ひとりを大切に
山下町長

町としては、人権を大切に取る取り組み、男女共同参画の実現、ワークライフバランスを大切にする取り組み等、これらを有機的に関連付け、一人ひとりを大切にしていく視点で取り組む。

問

非正規職員の待遇改善を

改正パート労働法が昨年4月1日に施行されました。町の非正規職員の待遇改善はどうなったのか。

答

改善を図っている
山下町長

労働基準法を下回ることはない。引き続き改善を図って行く。

……課長の補足説明……

▽西長総務課長

町には、非正規職員が約300人いる。4月より休暇制度、通勤手当の見直しを行う予定。

地方創生

問

親子ふれあいの場を

親子のふれあいの場として、東伯総合公園に遊具などを設置してはどうか。

答

前向きに検討する
山下町長

「琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、総合公園は健

康寿命日本一を目指す取り組みの拠点としており、「公共施設等総合管理計画」などを踏まえ、前向きに検討する。



東伯総合公園

問

芝張りのグラウンドゴルフコースの設置は

町には、芝を活用したグラウンドゴルフ場がありません。設置する考えはないか。

答

既存の施設の有効活用を
山下町長

身近な芝スペースを活用するなど、既存の町公共施設等の有効利用をしていただきたい。



高塚 勝 議員

問

地区・自治会創生を

答

意義あると考える

自治会創生

問 国は、全国の都道府県・市町村に対して、地方の地域振興や活性化を図るため地方創生事業を行っており、我が町も積極的に取り組んでいます。

町内9地区及び町内各自治会に対して、住民参画による各地区及び各自治会の地域特性を生かした、地区及び自治会の創生事業に取り組むべきと考える。

各地区及び各自治会からの計画に対し、基準を定めて「地域づくり支援事業交付金」を交付してはどうか。

答 山下町長

地方創生の実質的始動年であり、自治会活動の充実を重点項目として掲げております。

地域の総合力を高めるこの様な取り組みに対して、町として積極的に支援していく事は意義あると考えます。提案の自治会や各地区での支援策について検討します。

役場庁舎

問 役場に総合受付を

役場に来られた方が、総合受付がないため、どこに行つてよいか分かりません。総合受付を設置して対応すべきではないか。

答 検討します
山下町長

わかりづらいという意見があります。

また、課名や業務名等の案内板や役場の略図を設置して案内してありますが十分ではありません。総合案内窓口の設置について検討します。



本庁舎入口

問 役場に職員休憩所を

職員の昼食は、照明も消えた薄暗い仕事場で取っています。その姿は、とても見苦しく感じます。ぜひ休憩室、ランチルームを設置すべきではないか。

答 設置は困難
山下町長

昼食時に自席で食事を取っている職員が多くあります。これは、食事が取れる場所が無いということもありますが、休憩中の電話対応や窓口での対応なども出来るという側面もあり、ランチルームの設置は、財政的な事と、スペースの理由で困難です。

問 昼食は会議室等利用

ランチルームを新設しなくても、会議室等を利用すべき。仕事場と食事をするところは分離すべきではないか。

………課長の補足説明………

▽西長総務課長
何か改善できる方策を検討してみる。



新藤 登子 議員

問

農業体験に
町営住宅の活用を

答

「コーポラスことうら」は
条件が合えば可能

宿泊施設

問

受け入れる農家では、体験者が宿泊できる自宅の一部を提供ともいえず、かなり苦慮しておられる。安心して仕事ができるように、体験者の方には随時、町営住宅への入居ができるように受け入れの配慮ができないか。

答

山下町長

町営住宅は、規制があるため困難。コーポラスことうらであれば、入居条件が合えば可能であるが、いつ入居するか分からない方のために住宅を確保することは困難。旧以西小学校の校舎の2階部分を改修し、宿泊兼研修施設として整備する。



コーポラスことうら

問

随時入居は無理か

体験で来る人は、琴浦町で学んで、琴浦町に移住をして農業の後継者として頑張りたいという思いで来ておられる。随時入居できないのか。

………課長の補足説明………

▽福本建設課長

コーポラスことうらは、入居の条件が合えば、その都度考えていきたい。

空きがあれば、随時受け付けの相談をさせていただくが、一年以上の入居の方を対象としている。

ゴミの収集

問

家庭から出る枝木、雑草の収集について

庭の手入れで発生する枝木、雑草の処理で困っている。月1回くらいの収集はできないか。

答

財政的な負担が出る

山下町長

町内の業者に委託すると委託料が発生する。ごみ処理のための財政的

な負担が出てくる。

問

ゴミ袋の厚みの検討

ゴミ袋の厚みが薄すぎるので、枝木を入れたら裂ける。もう少し厚くできないか。

………課長の補足説明………

▽小塩町民生活課長

破れやすいものをカバーするために違う可燃性のものも袋に入れて出せば可能ではないかと思う。

問

数に制限なく出しても良

いか
週2回の収集日に大きなゴミ袋を二重にして枝木、樹木を何包みも数に制限なく出してもいいのか。

答

町のゴミ袋で

山下町長

町のゴミ袋で入る大きさのものだったら可能です。



青亀 壽宏 議員

問 TPP 国会決議
守られているか

答 国会議論を
注視・対応検討

TPP

問 町長は、琴浦町の農業に対して重大な影響が懸念されるTPPの大筋合意は、国会決議を遵守したものと考えているか、それとも国会決議に反すると考えるか。

答 山下町長

国会決議については、国会での議論を注視し、その対応を検討していくことが肝要と認識している。

問 国会決議守られていないのでは

私は、国会決議は守られていないと思っている。しかし政府は守られているといっている。町長はどうか、今後の対応が変わってくるので聞いている。

答 確実に動いていく
山下町長

好むと好まざるにかかわらず、大きな地球規模の広範な新たなシステムとして確実に動いていくと認識している。

問 政治姿勢示せ

町村会で決議もあげているのだら

う。大筋合意の段階で、これをどう評価し、どういう立場でがんばるか、議会で町長が表明すべき最低限の政治姿勢ではないか。

答 スタートを想定し対応
山下町長

全国町村会はTPPには反対ですが、私としてはスタートしていくだろうと捉えている。それを想定して具体的な対応をしていかなければならないと判断している。



問 転作の飼料作物なくなれば

前回の試算は、鳥取県で酪農がなくなる、というものだった。今度は関税引き下げの影響は半分程度という。酪農家の転作の飼料作物がなくなったらどうなるのか。

答 答えたくない
山下町長

仮定の話には答えたくないが危惧している。

人権・同和教育

問 同和教員加配あるのか

同和地区を抱える学校への教員加配を県教委はやっているのか、やっていないのか。

答 無い
小林教育長

無いと認識している。

問 教育の機会均等に反する

同和加配はない。特定の地域の子どもたちを長期間にわたって教師が出向いて無料出張学習塾のようなことをやるのは、教育の機会均等に反するのではないか。

答 反論する力つける必要がある
小林教育長

部落の子どもたちが社会に出て部落差別やさまざまな差別に会ったとき、反論する力を付ける必要がある。彼らがおかれている立場は違う。



大平 高志 議員

問

独自支援策の検討を

答

今後の検証の中で考える

町づくり

問

人口減、定住対策として出産祝い金制度の範囲拡充、町職員特別採用枠や地元就職祝い金制度創設など独自支援策の検討をしないか。

答

山下町長

出産祝い金の拡充は考えてないが、今後、子育て支援策を検討したい。職員採用は、特別な資格や能力のある者については検討しても良い。地元就職祝い金制度は課題が多くあるように感じる。移住・定住全体の中で考えていく必要がある。

問

町も雇用の場だが

民間の意識調査では、いい仕事があれば地方で働きたいという問題が伺える。

子どももある程度大きくなり、思いつく年齢が30代後半だと思いが現実的に難しい。

町も雇用の場の一つと思うがどうか。

答

政策的に考えている
山下町長

35歳から45歳ぐらいまでの部分と

いうものを政策的に採用したいと考えている。

問

新築・リフォーム補助を

昨年の9月議会で質問したが、新築資金補助制度を創設、住宅リフォーム助成を復活し、定住と空き家対策を行わないか。

答

29年以降に検討
山下町長

対象は、槻下ときらり団地となっている。制度を町内全域に広げることとは、限られた財源から非常に厳しい。リフォーム助成は、経済的効果は大きい。平成29年度の予算化を含め検討したい。

問

関西事務所の効果は

企業誘致の見通しはどうか、また設置から一定年限が経過した関西事務所の効果検証は行わないか。

答

目標達成の見通し
山下町長

今年の11月に淡水魚養殖の林養魚場が赤碓新港にギンザケの陸上養殖施設を建設、稼働する事となった。28年度末までに誘致企業1社の目標を達成できる見通しとなった。

問

来年以降も設置されるか

関西事務所は、来年も効果があつたという事で設置されるのか。

答

閉めると言うこと
山下町長

関西事務所は、平成27年度末をもって閉めると言うことです。

教科書採択

問

対策必要では

県内でも教科書会社が検定中の教科書を教員らに見せ、意見を聞き、謝礼を渡していた問題で該当者があつたと報じられている。この様な疑義が生じないように対策が必要だと思いがどうか。

答

指導していく
石前教育委員長

県教委は、今回の問題で該当教員を厳正に処分する方針を打ち出している。琴浦町においても校長を始め、町内の教員に対して機会を捉えて指導してまいりたい。



澤田 豊秋 議員

問 障がい者差別解消の取り組みは

答 対応指針を作成 山下町長
人権施策の推進に努める 小林教育長

差別解消

問 障害者差別解消法が本年4月から施行され、障がい者差別解消に向けた、町長、教育長の所見と本町の取り組みについて伺う。

答 山下町長

障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人権と個性を尊重しあいながら共生する社会の実現を目指して制定されたと認識している。障がいを理由とする差別の禁止や基本方針、対応要領、対応指針を作成する。

答 小林教育長

あらゆる差別をなくする総合計画に基づき、差別のない誰もが安心・安全で暮らせる人権尊重の社会の実現に向け、人権施策の推進に努める。

問 差別解消支援協議会の設置を

障害者差別解消支援協議会を設置する考えはないか。

答 県と情報共有しながら検討 山下町長

今後、県と情報共有しながら検討

していきたい。

問 総合計画の見直しを

総合計画の見直しについては、差別解消法に向けた内容も十分織り込むと共に、表現の自由の名のもとに大変多くの町民が精神的に苦しんでいる現状もあり、しっかりと取り組んでいただきたい。

答 住みよい町願っている 小林教育長

差別の実態は現存しており、やはり言論の自由あるいは表現の自由はある訳で、それによって傷つく人もいることを考えていただき、皆が住みよい、住みやすい町になって欲しいと願っている。



公民館での談笑

インクルーシブ

問 インクルーシブ保育・教育の推進について

インクルーシブ保育・教育^{注1}の推進について、町長・教育長の所見を伺う。

答 引き続き努める 山下町長

町内の全ての子どもたちの人権や個性が尊重される社会実現のため、今後も引き続き、保育・教育の推進に努める。

答 子どもたちの力を伸ばす 小林教育長

個別のニーズに応じた目標を設定し、子どもたちの力を伸ばしていくための教育を進めている。

注1 インクルーシブ保育・教育とは

インクルーシブとは、包含する、包まれるという意味で、保育・教育の場においては、障がいがあるうとなかろうと、あらゆる子どもが地域の保育園・学校に入り、必要な「合理的配慮」が提供されながら、保育・教育を受けること。



桑本 始 議員

問

農林業センサスの
対応策は

答

琴浦農業プロジェクト
で対応

農業問題

問

2015年農林業センサス概数値に対して、対応策はどのように進めていくのか。

答

山下町長

農業就業人口は5年前に比べ521人減少し、1,765人。年齢階層別では65歳から69歳が一番多く332人で、少ない階層は15歳から29歳の21人と若者が少なく高齢化が進行。農家数も5年前より252戸少なく、1,551戸となっております。地方創生加速化交付金事業で未来をつなぐ琴浦農業プロジェクトとして計画している。

問

半農半Xの導入は

IJUターンの就業支援策として、半農半X^{注1}の導入をどのように進めていけるのか。

答

加速化交付金で取り組む
山下町長

県の地方創生総合戦略の中に豊かな森や里山資源の活用として具体的施策として半農半Xの取り組み推進が計画されており、琴浦町の総合戦略にもIJUターンの就業支援（半農半X）として計画している。
就農体験ツアー、廃校舎を利用した宿泊施設を計画し、地域の実践指導者や町、農業委員会、JA等関係機関による農業技術面や生活面でのサポートを行う支援組織を整備し、新規就農者の確保を行いたい。

問

研修制度の広域化を

農業研修制度を広域化で検討すべきと思うがどうか。

答

協力し整備する
山下町長

農業研修制度は、県内全域で整備されており、農業大学校等、国、県及び担い手育成機構と協力し整備を考えている。

問

耕作放棄地の対策は

耕作放棄地に、桑の葉、生葉による産地化と、「耕作放棄地再生推進事業」で農業委員全員で復元（モデル園）されては。

答

桑の葉、生葉も検討課題に
福田農業委員会会長

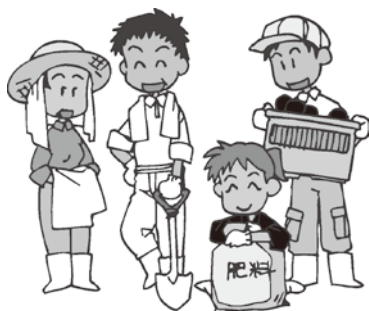
ポロタン8.3haを10haまで増反し、次に桑の葉や生葉も検討したい。耕作放棄地については、委員会で検討させて欲しい。



春ネギの出荷風景

注1 半農半Xとは

農業を営みながら他の仕事にも携わり、双方で生活に必要な所得を確保するしくみ（いわゆる兼業就農）。例えば半農半看護、半農半ITなど。





藤本 則明 議員

防災対策

問 防災対策(訓練等)はどのように

答 津波の避難訓練は海岸域一斉に考えている

問 町内各地で訓練が実施されている。私が住んでいる部落でも昨年末津波訓練が行われた。津波については部落ごとの訓練も重要であるが、海岸域全住民を対象とした一斉避難訓練の実施が不可欠ではないか。

答 山下町長

平成23年に沿岸部全域を対象に避難訓練を実施。翌年には、沿岸部の各区長に浸水区域の説明をした。また、平成26年には全国一斉の緊急地震速報の訓練で沿岸の自治会13部落146人の参加で実施した。

問 避難経路を確立しては

避難するにあたって同じ道路に集まると渋滞が起き、逃げるどころではないと以前申し上げた。避難経路を早急に確立する必要があると思うがどうか。

答 取り組みたい
山下町長

訓練対象全地域の区長さん方に総合的に話し合いながら取り組んでいきたい。

……課長の補足説明……

▽西長総務課長
地区毎に災害の種類によって一律ではないので、地域にあった訓練を考えておいていただきたい。



防災訓練の様子

問 小・中学校での防災教育の取り組みは

町内の各小・中学校における具体的な防災教育の実施並びに今後の対応は。

答 引き続き推進する
石前教育委員長

答 安全確保を第一に
小林教育長

防災計画を作成し、年間計画に基づき防災教育、避難訓練等を実施している。また、校区が海岸に面している学校については地震発生とその後津波を想定した避難訓練も行っているところ。児童生徒の安全確保を第一に置き、引き続き、防災教育の推進に取り組んでまいりたい。

問 消防団の重要性は

防災にあたって、消防団の重要性をどう考える。

答 ますます重要
山下町長

琴浦町の消防団の士気は高い。機動力について言えば有事に対応できると考えている。今後ますます重要な機能を果たしていただく。



小椋 正和 議員

問

中山間地域振興はどのように

答

自ら出向いて話し合いを進める

中山間地域振興

問 中山間地域での地域を維持するために、どのような具体的取り組みを考えているか。

答 山下町長

28年度から新たに集落支援員の配置を予定している。町と連携して集落内の状況や、町長自ら出向いて話し合いを進めて行きたい。

問 リーダーの育成は

すでにリーダーとなるべき人材もいない地域に対して、活性化に取り組む対応はあるのか。

答 システムづくりも必要
山下町長

集落単位ではなく、周辺の集落同士との話し合いのシステムづくりも必要と考えている。

問 特定助成は

地域伝統文化の継承、環境保全等、集落での地域活性化の取り組みに対して、ふるさと納税等を利用して特定自治助成制度を創設しないか。

答 上乗せを検討する
山下町長

自ら地域活性化や特色ある取り組みを行う自治会などへは、部落自治振興費の上乗せなど、地域運営の在り方や、支援の見直しも検討していく必要がある。

跡地活用

問 跡地活用の進展は

旧小学校跡地活用はあるのか。以西小の活用策が進展しているようだが実態はどうか。

答 活用を図る
山下町長

今後とも企業や地域の方に活用を募って行きたい。旧以西小2階部分については、農業関連施設としての活用を考えている。

問 活用が困難な要因は

他の小学校跡地については活用策が見出せない要因はなにか。

答 困難な一面もある
山下町長

関西事務所での県内誘致企業との

意見交換会などを行ってきたが、活用内容が一致しないなど、困難な一面もある。

問 個人起業家への活用は

旧小学校跡地活用は、大企業誘致ではなくして、個人の起業家へインターネットなどで募集し、集合個人起業家団地としての活用は図れないか。

答 校舎のメリットを活かす
山下町長

個人起業というニーズはまだ把握していないが、良い提案であるが色々な問題もある。まずは小学校の校舎というスケールメリットを最大限活かしたい。



活用が予定されている旧以西小学校



語堂 正範 議員

問

グルメのまち琴浦の推進を

答

琴浦ブランド化の推進に取り組む

グルメのまち

問 グルメのまち琴浦町を推進、発信するには、町内に連携、協力を行う組織がなければ難しいと考える。推進する体制づくりをどのように行うのか。

答 山下町長

琴浦町はグルメのまちとして認知されつつあり、来年度以降は、地方創生事業として琴浦商品のブランド化の推進に取り組んで行こうと考えている。

……課長の補足説明……

▽小泉商工観光課長
グルメのブランド化を推進していく母体として、琴浦町観光協会、琴浦グルメストリートが主な団体と思っている。

問 観光ビジョンの精査を

観光ビジョンの内容が古くなっている。ある程度、柱になるものとして、グルメを推進するための条例、ビジョンの新たな構築が必要と思うがどうか。

……課長の補足説明……

▽小泉商工観光課長
語堂議員のおっしゃるとおり、見直しの検討を次年度には行いたい。



琴浦特産品カタログ

ふるさと納税

問 クラウドファンディングの活用を

インパクト投資、クラウドファンディングの活用は、町の財源を確保する一つの手法として活かせるものだと考える。ふるさと納税の新たな活用、寄付金募集を検討するべきではないか。

答 可能なものは活用する
山下町長

クラウドファンディングは平成28年度に実施することとしており、対

象事業を検討している。企業版ふるさと納税制度を積極的に取り組んでいきたい。

問 基金をスポーツ振興にも

ふるさと未来夢基金注1をスポーツの振興に活用しないか。

答 検討する
山下町長

4つの枠組みで活用できないか検討する。

注1 ふるさと未来夢基金とは

ふるさとへの寄附金（ふるさと納税）を受け入れるため「琴浦町ふるさと未来夢基金」を設置、自然環境の保全、次世代育成の支援、高齢者福祉の増進、地域活力の創出等を図るため活用している。



ふるさと未来夢寄附金パンフレット



川本正一郎 議員

問

安心して暮らせる町づくりの成果は？

答

「創生総合戦略」を策定 山下町長
人を育てる教育が重要 小林教育長

町づくり

問

平成27年度に安心して暮らせる町づくりの基本理念として4つのテーマを設定したが、その実施状況と成果を伺う。

答

山下町長

昨年度よりの人口減対策を引き継ぎ、「琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。

結婚、出産、育児教育関連では、婚活コーディネーター、新婚家庭定住促進、第三子保育料無償、第二子保育料半額免除、休日保育など各事業を実施した。

安心・安全という面では、危険家屋実態調査、急傾斜崩落対策、河川改修、自主防災組織の結成促進などであります。

健康増進は、介護予防、予防接種、検診率向上に取り組んできました。

明日のふるさとを支える人づくりでは、地域おこし協力隊3名の設置、地域づくり団体との連携、鳥大との連携、人権・同和教育、国際交流、定住外国人の支援事業です。

地域産業の活性化では、頑張る農家プラン、販路開拓、観光振興、ことうらブランド化、企業誘致などの事業を実施した。

答

小林教育長

保育園、子ども園、小学校、中学校、福祉関係と連携を持ちながら取り組んでいる。

地方創生の基盤は、地域において人を育てる教育が重要であり、学校教育、社会教育、人権・同和教育を柱として、人づくりに取り組んでいます。

問

ブランドの認知度アップを

地域産業の活性化について、琴浦町ブランドの認知度アップとして『食のるつぽ』の推進と強化が必要だと思いがどうか。

答

評価は難しい
山下町長

県内では琴浦という認知度は高い町だと認識しているが、県外における認知度の評価は難しい。

問

文化財の活用事業は

琴浦ブランドは、イメージアップとレベルアップのため、絶え間ない努力の継続で成り立つと思う。
魅力ある琴浦の文化財の再確認と活用事業はどうか。

答

活性化に努める
山下町長

大高野官衙遺跡や赤崎台場が国の史跡になった。文化財を単体で学術的なものに止めず、他の施設と一体的な取り組みをして観光や町の活性化に努めたい。

答

保存と活用考える
小林教育長

大高野官衙遺跡と斎尾廃寺の1帯を保存活用するための、文化庁や県立博物館などによる検討委員会が開かれている。魅力ある琴浦を発信するため、観光も併せて保存と活用を考えていきたい。



大高野官衙遺跡の航空写真

町を語る会」の開催

3月1日に教育委員会が主催で、東伯中学校生徒議場体験学習として「明日の琴浦町を語る会」が開催された。

生徒を代表して生徒会執行部11名が参加、「斎尾廃寺跡を町のシンボルとして整備し、関連する白鳳祭の充実・リニューアルについて」と「琴浦町の海をきれいにする取り組みについて」の2案が提案された。

初めての議場に緊張、戸惑いがあったと思うが、堂々と町長・教育長に向けて質疑を行う姿はとても頼もしく感じた。



琴浦町の海をきれいにする取り組みについて

問 松本翔太（総務委員）

琴浦町の海はとてもきれいです。逢東を海水浴場にしたいと考えました。しかし、砂浜や岩場が汚いです。海をきれいにするのが大切だと考えますがどうでしょうか。

答 山下町長

海水浴場はなかなか難しいのかなと思っており

ます。ボランティアと一緒にあってきれいな海岸線というものを維持していくと考えております。

答 小林教育長

海岸全てがきれいな状態で残ればよいなと思っています。自然を生かしたスポーツであれば、それは本当に絶好の場所ではないのかなと思っております。

問 武信 翔（学習委員長）

海岸清掃だけではなくて、子どもたちが遊べる

ように公園整備なんかも、したほうがいいと思います。

答 山下町長

魅力的な海岸というのを守っていくということは重要なことでありますし、そういうことを参考にしながら取り組んでいきたいと思っています。



質 疑 答 弁

齋尾廃寺跡を町のシンボルとして整備、 白鳳祭の充実・リニューアルについて



問 河本美生奈（給食委員長）

齋尾廃寺跡は山陰唯一の特別史跡でもあり有名です。CGなどはあるが建物が無いのはもったいないです。琴浦町のシンボルとして、観光客を呼ぶのにもふさわしいと考えます。

答 山下町長

貴重な提案をありがとうございました。
国の特別史跡は全国に61ありますけれども、山陰地方では齋尾廃寺だけあります。もっと全

国的にもPRして、観光客がもっと訪れるように、一生懸命取り組んでいきたいと考えます。

問 奥山玲衣香（図書委員長）

私は毎年白鳳祭を楽しみにしていますが、たくさんの方が来られても車の置場がない。

駐車場を広げたらいいと思うのですがどうですか。

答 山下町長

駐車場をどうするかということにつきましては、優先順位なども考えながら考えていくことになると思います。

問 上山勝也（生活委員長）

白鳳祭はサッカー場だけでなく、体育館なども使ったりして、規模を拡大して行った方がよいと考えますがどうですか。

答 山下町長

もっと改善したり、もっといろんな工夫というのがやっぱりあると思います。

引き続き研究や検討をしていかなければならないと思っております。



青年の声

—琴浦町で活躍する青年組織— (その1)

琴浦町を牽引する
5つの青年組織!!

この町の若旦那!

私たちは、部員・他団体と連携し、この町の若旦那として、皆さまに支えられながら、より一層の地域活性・貢献に取り組んで参りたいと考えます。



部長 宇田川佳郎

琴浦町商工会青年部

琴浦町青年団



事務局長 藤原 拓也

面白いことを

青年団ではボランティアやスポーツ交流会等の地域活動を行っています。最近では鳥人間コンテスト出場に向け活動中です。応援よろしくお願いいたします!

琴浦町農業青年会議



会長 真山健太郎

農アグリ農ライフ

農業青年の集まりです。耕作放棄地対策、餅つき、農業委員会との意見交換会等を行っており、活動はフェイスブックにアップしております。

赤碕町漁協青年部



部長 入江 孝伸

海の恵に感謝

漁協青年部は漁場環境保全のため積極的に海岸清掃を行い、また海の日には「海鮮祭り」に自ら素潜りで採ったサザエや岩ガキを販売し、おいしさをPRしています。

二社東伯青年会議所



理事長 都田 雅和

全てに感謝の心を

40歳以下の会員で組織されており、本年創立35周年を迎えます。「このまち大好き探偵団」などの事業を行っております。詳細はHPをご確認ください。

あともがき



新緑の候、草花の香りが清々しい季節となりました。平素より「議会だより」を御愛読いただき心より御礼申し上げます。

この度、広報常任委員会委員長を再び務めさせていただくこととなりました。議会広報の役割は町民へ議会で審議された内容を分かり易く伝えることが責務と考えます。

町民が知りたいことを適確に捉え、発信することにより、琴浦町議会に対し、少しでも興味を持っていただけるように運営して参ります。

町民の皆さまに必要とされる「議会だより」を作成するために頑張りますので、今後とも宜しく願います。

(語堂 正範)

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 語堂 正範 |
| 副委員長 | 大平 高志 |
| 委員 | 青亀 壽宏 |
| 委員 | 高塚 勝 |
| 委員 | 桑本 賢治 |
| 委員 | 澤田 豊秋 |

表紙写真

下伊勢バイパスの開通式でしらとり子ども園の4歳児が安全宣言を行いました。

(撮影/澤田 豊秋)